

(様式2)

令和6年度 施策評価シート

1 施策の位置づけ

基本戦略	2. 一人一人が活躍できる村をつくります
重点目標	5. 誰もが活躍できる社会環境づくり
主要施策	5-3. 誰もが人権が尊重され、自分らしく活躍できる社会環境をつくります

2 施策の評価

指標 (K P I)	単位	基準値	達成値					目標値	担当課
		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
審議会等における女性の登用率	%	11.6	12.3	20.1	23.9	22.7	25.9	20.0	総務課
人権講演会の参加者数	人/年	40	80	—	30 ※	56	60	50	

※ R3は公民館LGBT研修参加者のみ。人権講演会については村内放送で実施のため人数は0任で計算

3 主な取組

92	1	人権・男女共同参画に関する周知・啓発の実施						総合評価	
		誰もがかけがえのない個人として尊重される村の実現に向け、村民に対し、人権や男女共同参画に関する周知・啓発等						A	
		事務事業名	担当課	記号	成果	コスト	評価	重点化	
		男女共同参画に関する取組	総務課	5	維持	維持	A		
194	2	人権教育や男女共同参画に関する教育の推進						総合評価	
		学校等において、人権教育や男女共同参画に関する教育を推進し、人権や男女共同参画に対して理解を深める						A	
		事務事業名	担当課	記号	成果	コスト	評価	重点化	
		小学校における、人権教育の推進	教育委員会	5	維持	維持	A		
195	3	相談支援体制の整備						総合評価	
		人権問題を解決することができるよう、関係部署や関係機関、関係団体等との連携、人権相談の実施						A	
		事務事業名	担当課	記号	成果	コスト	評価	重点化	
		人権相談の実施	総務課	5	維持	維持	A		

4-1 施策の評価・検証 (総務課)

評価視点	評価コメント
事業構成の適正	人権や男女共同参画に関する研修会の開催。 防災計画や災害時の各種マニュアルに女性視点の内容を盛り込む。
事業の重点化	男女共同参画推進計画の評価検証により取組みの見直しを図り、成果目標の達成に向けて各種事業を推進する。

4-2 施策の評価・検証 (住民福祉課)

評価視点	評価コメント
事業構成の適正	障がいや認知症、妊娠等によりサポートが必要な方への理解を深めるための啓発に継続的に取り組む。
事業の重点化	関係機関と連携したサポート制度への理解や利用も継続的に進める。

4-3 施策の評価・検証 (産業振興課)

評価視点	評価コメント
事業構成の適正	村内企業への人権や男女共同参画及び職場における働き方改革やワークライフバランス等を推進する。
事業の重点化	啓発チラシの配布や講演会等への参加を促進し、企業における人権意識の向上を高める。

4-4 施策の評価・検証 (教育委員会)

評価視点	評価コメント
事業構成の適正	SNSによる誹謗中傷などを防止するための、ネットモラルの教育や啓発を年間を通じて実施する必要がある。
事業の重点化	学校において仲良し月間などを活用し、子供の態度や行動に現れる学習を目指す。